

2015年6月吉日

主催：株式会社エッジ・インターナショナル

協力：一般社団法人 株主と会社と社会の和、企業価値レポーティング・ラボ

後援：一般社団法人 日本 IR 協議会

EDGE IRセミナー2015 II

『IR 担当者と考える、CG コード時代におけるガバナンス・ストーリー』

～元企業 IR・株式マネジャーによる

長期投資家に刺さるコーポレートガバナンス・コード対応を語る～

コーポレートガバナンス・コードの時代が幕開けとなったいま、中長期の企業価値に関心の高い投資家に、自らの企業価値を理解してもらう上で絶好の機会が来ました。企業の IR 担当者にとって株式市場での正当な評価を得る上で重要な鍵は、コーポレートガバナンスです。本セミナーでは、元企業 IR・株式マネジャーの立場から、自社のガバナンス・ストーリーを考えるにあたって、長期投資家の視点を踏まえ、何が見逃せない点であり、何が重要なのかを、一般社団法人 株主と会社と社会の和 代表理事の（元企業 IR・株式マネジャー）山崎直実氏に解説していただきます。CG コードの実務のみならず、アニュアルレポートや統合レポートのマネージメント・レター作成に参考になるお話も展開していただく予定です。是非、課題を持っていらっしゃる IR 担当者、CG コード担当者の皆様に参加をお勧めいたします!!

なお、当日は、特別ゲストとして、元著名ファンドマネジャーの方からも講演をいただく予定です。どうぞ、ご期待ください!!

〈本セミナーの主な内容〉

- ①ガバナンス・ストーリーのポイントは？
- ②ファンドマネジャーは何を決め手としているのか？
- ③アニュアルレポートや統合レポートにどう生かすか？

当日は、Q&Aの時間もありますので、積極的にご参加ください。

1. 日時、開催場所

日時：2015年7月22日（水）14：30～16：00（受付開始14：00）

開催場所：野村コンファレンスプラザ日本橋6F中ホール（日本橋室町野村ビル）

最寄駅：三越前駅、以下、参照

<http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/access.html>

お問い合わせ先 TEL 03-3403-7750

（株式会社エッジ・インターナショナル セミナー事務局：岡田、江森）

<http://www.edge-intl.co.jp/>

2. 参加費用

参加費用 無料

※個社別レクチャー、コンサルティングのご案内（別日程、費用別途）

ご希望に応じて、後日、個社別のレクチャーにも対応しております。弊社並びに本日講演の山崎氏で伺います。統合レポート作成、CGコード対応のコンサルティングもお受けしています。

3. プログラム

ごあいさつ、講師ご紹介

: 14:30~14:35 (5分)

講演Ⅰ : 14:35~15:05 (30分) 特別ゲスト 元ファンドマネジャー

※特別ゲストは当日、発表させていただきます。

講演Ⅱ : 15:05~15:50 (45分) 山崎 直実氏

Q & A : 15:50~16:00 (10分)

4. 対象者、対象人員、参加申込方法

対象者：企業の IR 担当者、CG コード担当者

対象人員：60名（先着順、誠に勝手ながら1社2名様までとさせていただきます）

※制作会社、コンサルティング会社はお断りしています

参加申込方法：

①件名に【2015EDGE IRセミナーⅡ】とご記入ください。

②氏名、会社名、所属部署、役職、Eメールアドレス、電話番号を明記ください。

③seminar@edge-intl.co.jp までお申し込みください。

※受講票は、事務局より、後ほど、送付します。

講演者：

河北 博光氏

日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト

国内外の運用会社において約20年の株式運用経験を持ち、ボトムアップリサーチに強く、企業価値評価モデルの開発、ファンド評価、スチュワードシップ活動評価などを担当。

1993年、日本生命保険相互会社入社。1998年、ニッセイ投資顧問株式会社（現ニッセイアセットマネジメント株式会社）に出向、国内株式運用室ポートフォリオマネージャー。2006年より米国パトナムインベストメンツ所属、グローバルグロースチーム アナリスト。2009年、ニッセイアセットマネジメントの旗艦ファンドの運用責任者。2012年、国内株式運用部担当部長。2014年1月、ニッセイアセットマネジメント退職。

山崎 直実氏

一般社団法人 株主と会社と社会の和 代表理事

1985年、株式会社資生堂入社。営業、商品開発・マーケティング、経営企画、IT戦略を担当。2003年からコーポレートガバナンス、情報開示、株主総会・株主対応を統括。2006年より国内外機関投資家や議決権行使助言会社、SRI調査機関、年金基金との対話を重ね、「社外役員の独立性詳細開示」「役員報酬個人別開示」「招集通知発送前WEB掲載」「統合報告書」など、ガバナンスやESGに関する情報開示とコミュニケーションの取り組みを推進。2014年3月、資生堂退職。6月に一般社団法人 株主と会社と社会の和を設立。

経済産業省「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～（伊藤レポート）」委員、同省企業報告ラボ「コーポレートガバナンスの開示の在り方分科会」委員を歴任。

IIRC（国際統合報告評議会）実務者意見交換会メンバー。